

王寺町総合計画(第2期総合戦略)効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント
			A	B	C	D	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	協働による仕組みづくりや効率的な行政経営により、行政サービスの充実を図る	(1)協働の仕組みの構築	4	5	2	0	<p>コロナにより評価しがたい</p> <p>コロナ禍において、その関連情報への関心度やワクチン接種の予約等で町公式サイトへのアクセスが急増した。今後この住民の高まりを他の分野へ拡大していく。</p> <p>若年層の参画が必要</p> <p>住民の町政に対する関心が明らかに高まっており高い効果が得られている。</p> <p>町公式SNSの取り組みが「行政の透明性の満足度」を高めることを期待。Lineのフォロワー数が多いのは、やはり幅広い年齢層に利用しやすい結果ですね。</p> <p>住民アンケートにより、最終年度に目標達成を評価する項目が全体の半分を占め、かつ、項目の中では重要な点を評価する項目と思われるので、全体の評価は困難。KPIの変更を論ずるべき。</p> <p>SNSフォロワー数が大幅に増えている。</p> <p>対面式会議等の機会が無くなり、なかなか成果を出しづらい。25～42歳醸成の就業率ほぼ目標に近づいており、今後もう少し工夫が必要か。</p> <p>概ね目標通りの効果を得られており、指数も向上しているため、一定の効果を得ているものと思料</p> <p>コロナ禍によりいろんな活動が出来なかった</p> <p>女性委員の増加を図るため、各種団体の長や代表でない人の委員への就任を検討すべき。</p> <p>電子申請利用率は今後ますます延びていくだろう。マイナンバーカードの交付率は国施策のマイナポイント第2弾で急速に伸びる。ふるさと納税で今後希望使途項目(教育・ハード整備・観光・福祉等)に分ける。</p> <p>経常収支比率の極端な改善について詳しく説明して欲しい。引き続き「事業の見直し」「業務の効率化」等、積極的な対策が必要。</p> <p>経常収支比率推移は、社会保障費等支出によるものであり、住民に対するサービス良化に資する支出であることから現状では問題なきものと思料</p> <p>行政サービスの内容は住民に分かりにくく、自分にとって身近な事がおこってはじめてその内容に気づく事が多い。そのため数値に表わしにくいのではないか?</p> <p>住民アンケートの結果を基に評価するのであればR5年度だけでなく中間年でもアンケートを実施すべき。</p> <p>マイナンバーカード交付率がR5年度の目標を達成しましたが、目標値の40.0%の設定が少し低いのかなと感じました。</p> <p>ふるさと納税額から翌年の住民税減収額を差し引いて、純収入になる金額はどのくらいか。</p>
		(2)お互いを尊重するまちづくり	0	3	8	0	<p>電子申請利用率は今後ますます延びていくだろう。マイナンバーカードの交付率は国施策のマイナポイント第2弾で急速に伸びる。ふるさと納税で今後希望使途項目(教育・ハード整備・観光・福祉等)に分ける。</p> <p>経常収支比率の極端な改善について詳しく説明して欲しい。引き続き「事業の見直し」「業務の効率化」等、積極的な対策が必要。</p> <p>経常収支比率推移は、社会保障費等支出によるものであり、住民に対するサービス良化に資する支出であることから現状では問題なきものと思料</p> <p>行政サービスの内容は住民に分かりにくく、自分にとって身近な事がおこってはじめてその内容に気づく事が多い。そのため数値に表わしにくいのではないか?</p> <p>住民アンケートの結果を基に評価するのであればR5年度だけでなく中間年でもアンケートを実施すべき。</p> <p>マイナンバーカード交付率がR5年度の目標を達成しましたが、目標値の40.0%の設定が少し低いのかなと感じました。</p> <p>ふるさと納税額から翌年の住民税減収額を差し引いて、純収入になる金額はどのくらいか。</p>
		(3)健全で効率的な行政運営	3	7	1	0	<p>電子申請利用率は今後ますます延びていくだろう。マイナンバーカードの交付率は国施策のマイナポイント第2弾で急速に伸びる。ふるさと納税で今後希望使途項目(教育・ハード整備・観光・福祉等)に分ける。</p> <p>経常収支比率の極端な改善について詳しく説明して欲しい。引き続き「事業の見直し」「業務の効率化」等、積極的な対策が必要。</p> <p>経常収支比率推移は、社会保障費等支出によるものであり、住民に対するサービス良化に資する支出であることから現状では問題なきものと思料</p> <p>行政サービスの内容は住民に分かりにくく、自分にとって身近な事がおこってはじめてその内容に気づく事が多い。そのため数値に表わしにくいのではないか?</p> <p>住民アンケートの結果を基に評価するのであればR5年度だけでなく中間年でもアンケートを実施すべき。</p> <p>マイナンバーカード交付率がR5年度の目標を達成しましたが、目標値の40.0%の設定が少し低いのかなと感じました。</p> <p>ふるさと納税額から翌年の住民税減収額を差し引いて、純収入になる金額はどのくらいか。</p>
2 快適で暮らしやすいまちづくり	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる	(4)都市基盤の充実	1	7	2	1	<p>上下水は、</p> <p>水道事業で留保資金を利用した老朽管更新(耐震)工事は一定効果が認められるが、その他はまだ計画段階で実質的な進捗はこれからである。</p> <p>上下水道等で一定の効果が得られているが、更なる充実に向けた積極的な取組が必要</p> <p>積極的な取り組みの継続が今後の数値に表れることを期待します。</p> <p>都市機能誘導施設にR2年開業の東横インを含めるべきである。これにより目標達成となる。</p> <p>西和医療センターの王寺駅前口移転計画について</p> <p>現在三郷町の安全な高台にある病院を王寺駅前の浸水想定区域(3m～5m)に移転する計画で、安全な場所から危険な場所に移転するという、防災に逆行した計画であるので中止してもらいたい。</p> <p>今年3月16日の大和川上流部減災対策協議会で国交省近畿地方整備局が配った資料では、今後の治水計画は気候変動による降雨量の増加を考慮したものに見直すとしている。気候変動は、パリ協定の目標である2℃上昇した場合、降雨量1.1倍、流量1.2倍、洪水発生頻度2倍になるとしている。これを受け、大和川流域治水の施策のうち、被害対象を減少させる対策では、リスクの高いエリアから低いエリアへ誘導するために、土地利用規制、誘導、移転促進するよう県・市・企業・住民に求めている。よって、西和医療センターの王寺駅前口移転計画は、国の治水対策にも逆行しています。</p> <p>また、移転計画地の周辺一帯は浸水想定区域で、浸水時には鉄道、道路は不通となり、病院は被災するだけでなく肝心の診療もできなくなる。地形もJR線路敷で細長く、今様の人の動線を考慮した正方形に近い形の病院には適さない。さらに、朝の通勤時間帯の王寺駅前の混雑を助長することになり、雨の朝には救急車の進入にも支障をきたすのではないか。</p> <p>防災に逆行し、浸水時に診療ができず、駅前の混雑を助長し、理想に近い病院はできず、土地代が高く事業費が膨らむ事業は中止しかない。</p>
		(5)交通ネットワークの整備	0	2	6	3	<p>国道168号関係はそれに対応しながら進められているが畠田駅前線(駅広場)等は用地取得にもう少し時間がかかるか。</p> <p>具体的な交通ネットワーク整備の効果が認められず現状での効果は不十分と思料</p> <p>奈良交通路線バスの減便により不便利になった</p> <p>今後の道路整備とその動向を期待しています。</p> <p>全く効果が表われていることを示す数値がなく、また、数値を取ることができないKPIがあり、KPIを再検討すべき</p>
		(6)環境への配慮	1	3	4	2	<p>クリーンキャンペーンを実施出来ず数値を測れなかった。一般家庭からのゴミ排出量は少し減少。啓発活動の効果が出ている。</p> <p>「ゴミ排出量」「ゴミのリサイクル率」等、啓発に工夫をこらしているが、更なる工夫を求める。</p> <p>ゴミの排出量削減・リサイクル率向上に向けて更なる取組が必要</p> <p>ゴミの排出量が減少したのはよかった</p> <p>コロナ禍後の活動に期待。更なる住民への啓発が必要。</p> <p>「ごみ減量化プロジェクト」の効果が数値に表れたと思います。個人的にはごみ分別ガイドブックがとても役に立っています。</p>
		(7)水と緑の保全と創出	0	1	5	5	<p>国道168号の無電柱化は必要不可欠であり、それに併行して共同溝整備も必要となる。そのための設計・関係機関との調整は早めに入りたい。</p> <p><実績不明のため評価できず></p> <p>全く効果が表われていることを示す数値がなく、また、数値を取ることができないKPIがあり、KPIを再検討すべき</p> <p>「映え意識で景観にこだわりを」掲げ、北海道東川町という国道も鉄道も上水道もない町が人口を増やしている。参考にしたらいかがか。電線共同溝の工事は、本来道路拡幅改良工事と並行して施行するもの。後で道路を掘り起こすことになり、沿道家屋の接続負担も大きくなる。国道168号線は緊急道路であり、無電柱化は急がれるので沿道家屋の接続に注力してほしい。(共同溝を入れて電柱が残るのは問題)</p>

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人)				コメント	
			A	B	C	D		
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる	(8)地域防災の充実	0	6	4	1	自主防災組織に対する住民意識が低い。防災訓練においてはコロナのため実施出来ない。「王寺町安全・安心メール」「LINE公式アカウント」の登録については町の色々な情報発信に非常に有効。 防災士ネットワークと自主防災組織の連携を更に進めて欲しい。 地域の関心が高まっているが、継続的な取り組みが必要であると思料 コロナ禍後の活動に期待。更なる住民への啓発が必要。 災害発生時にメールやLINEは必要な情報を届けるために重要になってくるので、更なる増加が必要です。	
		(9)日常生活の安全確保	4	6	1	0	防犯カメラの設置やカーブミラーは刑法犯や高齢者の交通事故防止に大きく役立っている。 刑法犯年間認知件数等大きな成果あり 引き続き犯罪、事故が発生しにくいまちづくりをお願いします。	
4 健やかに暮らせるまちづくり	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障害者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる	(10)高齢者支援の充実	1	10	0	0	コロナのため介護予防教室等の参加は開催の中止等で減少せざるを得ないが、他の数値目標はクリアしており支援体制の充実が見られる。 高齢化に対応すべく支援策の取組を充実させていく必要がある 現在、美ヶ丘にとり入れられている移動支援には大いに期待している。現実問題として車の運転ができなくなったらと不安でしたが希望がみえてきています。 コロナ禍後の数値を確認 高齢者支援の充実は今後ますます重要になると思います。引き続きコロナ禍の中でもできることをすすめていただきたいです。	
		(11)障害者支援の充実	1	6	4	0	福祉施設から一般就労への意向も確実に伸びている。手話奉仕員の登録者数も目標値には達していないが着実に増加している。 更なる住民への啓発が必要	
		(12)健康づくりの推進	0	2	5	4	4	検診→他所にて(会社等) 結果としては残念であるが全てのガン検診の受診率が年々減少傾向にある。受診率を上げる方法を検討すべき。 コロナ禍のためか検診受診率が低いのが残念 がん検診の受診者が少ない。運動量が少ないのは予想以上だった。 H30年からの考え方の変更について説明があるが、どうすれば経年比較ができるのかを示すべき がん検診の受診率の低さは対策が必要と感じます。歩く健康づくりの項目でマイナンバーカードを利用した事業展開とはどのようなものなのでしょう
		(13)地域で支え合うまちづくり	1	1	9	0	0	ボランティア少ない 医療費はほぼ横ばい。特定検診の受診率は微増であるが担当課は色々な形で受診を促しているが、なぜその効果が出てこないのか。 現在のボランティア年齢が高くなっているためボランティア育成は急ぐ必要がある。サロンの少しずつの再開につき大変よろこばれている 更なる住民への啓発が必要 特定健康検査受診率の増加は良いと思います。
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	すべての住民が生涯学び続けることができ、地域の歴史文化に親しめる町をつくる	(14)子ども・子育て支援の充実	1	8	2	0	子育て支援施策の効果が出ていると思う。保育園の待機児童が年度内入所において0人は担当部署の努力が出ていると思う。 サービスに対する満足度は高く、一定の効果が得られているものと思料 コロナの状況で施設利用が難しい状況の中、成果がでていると思う。ただこの状況の中で今までつながりのなかった利用希望者への対応に注意が必要 子どもの生活リズムを整えることは非常に大切で、その大切さを機会があるごとに啓発し割合が増加したのは素晴らしいと思います。	
		(15)学校教育の充実	2	9	0	0	0	今年から義務教育学校が開始したばかりで学力についてはあと数年の経過を見ていきたい。運動に関しては男女共に全国平均を上回っているが、女子については下がりぎみである。 高く評価する 義務教育学校開校による教育環境の充実に期待 小中一貫校の設置によりさらにこの取り組みの充実が期待できて楽しみ
		(16)生涯学習の充実	1	5	4	1	1	生涯学習施設、図書館等は、コロナのため利用制限等が出され本来数字があがっていない。また、行事の参加についても行事自体が中止等で人数の把握が出来ない。 小学生の地域行事参加について、非対面で開催する等の工夫も必要かも コロナ禍の影響が色濃く出ており、コロナ禍後に注目 地域の行事に参加する小中学生の割合は、コロナ禍収束後、工夫して伸ばす必要があると思います。
		(17)歴史文化・スポーツ活動の振興	0	4	6	1	1	コロナのため催物が中止となり、参加や活動が出来なかった。 概ね目標指数を下回る状況につき、コロナ禍での行事開催方法を工夫すべきかも コロナ禍の影響が色濃く出ており、コロナ禍後に注目 コロナ禍の影響を大きく受けている。
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる	(18)活力の創出	1	7	2	1	1	コロナの影響で正しい数字がつかめられない。 宿泊者数こそ少ないものの、起業・人口・観光ともに増加しており、高い効果が得られている。 コロナ禍の影響が色濃く出ており、コロナ禍後に注目 引き続き魅力あるまちづくりに期待します。
		(19)交流の促進	1	8	2	0	0	0

評価の視点 効果を得ることができているか。長期的な効果が見込めるか。事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。